

公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 令和元年7月22日（月） 14時00分～16時15分

1 議題事項

(1) 公安委員会に対する苦情の調査結果について

県警察から、「本年4月8日及び4月15日に受理した警察法第79条に基づく公安委員会への苦情申立てに対する調査結果について審議願いたい」旨の説明を受け、審議の結果、了承した。

委員から調査結果について、「原案どおり対応をお願いする。粛々と手続を進めていただきたい」旨の発言があった。

(2) 犯罪被害者等給付金支給裁定（案）について

県警察から、「犯罪被害者等給付金の支給裁定（案）について審議願いたい」旨の説明を受け、審議の結果、了承した。

(3) 青森県道路交通規則の一部を改正する規則の制定について

県警察から、「平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な物流を確保すべく本年4月、国土交通大臣が全国における物流上の重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定した。指定された路線は車両の長さ・重量については緩和措置が講じられたものの、高さについては緩和措置が講じられなかったことから、青森県道路交通規則により、公安委員会が定める自動車の高さ制限を4.1mに指定する道路について、新規追加及び既指定路線区間を変更するので審議願いたい」旨の説明があり、審議の結果、了承した。

2 報告事項

(1) 県議会の開催状況について

県警察から、「第298回定例会では、「登下校時の子どもの安全確保の推進」、「高齢者運転対策」、「社会的孤立の解消と犯罪抑止の取組」等について、定例会中の文教公安委員会では、「青森県暴力団排除条例の一部を改正する条例案」、「交番の安全対策」について質疑があり、本部長及び担当部長が答弁した」旨の報告があった。

委員から、「高齢者の運転免許返納は、返納したら終わりではなく、返納者間で意見交換ができる機会を設けるなど、返納者の意見や感想が反映され、更に返納への理解が深まるよう関係機関と連携した取組をお願いする。また、登下校時の子どもの安全確保について、パトカー等でパトロールしていただいているので、継続した取組をお願いする」旨の発言があった。

(2) 令和元年上半期における人身安全関連事案等の概況について

県警察から、「本年上半期のストーカー事案取扱状況は、認知が100件で前年同期比プラス2件、検挙は11件でプラス2件であった。DV事案取扱状況は、認知が221件で前年同期比マイナス15件、検挙は30件でマイナス4件、保護命令は6件でマイナス4件であった。今後も児童相談所や検察庁と連携し、児童の安全確保を最優先に適切に対応していく」旨の報告があった。

委員から、「地域に密着した仕事をしている方や地域住民の方が知っている児童虐待やDVにつながる情報をいかに吸い上げるかが重要であり、家庭内の異常な状態の早期把握につながる取組をお願いします」旨の発言があった。

(3) 令和元年上半期の犯罪統計について（暫定値）

県警察から、「本年上半期の刑法犯認知件数は、1,661件で前年同期比マイナス377件で、検挙件数、検挙人員は減少したが、検挙率は上昇した。刑法犯のうち重要犯罪は、認知件数、検挙件数、検挙人員が増加し、検挙率は上昇した。また、重要窃盗犯は認知件数が149件で前年同期比プラス5件であり、検挙件数、検挙人員は減少し、検挙率は低下した」旨の報告があった。

委員から、「重要窃盗犯の検挙率が向上する施策の取組をお願いします」旨の発言があった。

(4) 捜査用似顔絵作成講習会の開催について

県警察から、「捜査用似顔絵作成技能を有する職員の拡大と作成技術の向上を図り、面接犯罪等の捜査強化を目的に、8月29日、30日の二日間、県警察学校において、元大阪府警の職員で警察庁指定広域技能指導官であった柴田氏を講師に招き、似顔絵作成講習会を開催する」旨の報告があった。

委員から、「似顔絵から検挙につながるものもあるので、研修や訓練を積み重ね、技術の向上に努めていただきたい」旨の発言があった。

以 上